

北陸産業活性化フォーラム

参加無料

日時 令和 2年 11月 18日(水) , 13:30~16:00 [13:00 受付開始]

会場 ホテル日航金沢 4階「鶴の間 A」※同時にオンライン (Teams) 配信

今般、新型コロナウイルス対策として様々な取り組みがなされており私たちの健康意識も一層高まっています。人生 100 年時代を前提とし、いつまでも明るく健康であり続ける社会の実現に向け『健康寿命の延伸・健康長寿社会の実現』をテーマに開催することとしました。

プログラム

【基調講演】

演題：健康ビッグデータ(BD)活用による「寿命革命」の実現

－ニューノーマル時代の未来型ヘルスケアサービスの追求－

**講師：弘前大学健康未来イノベーションセンター(COI 研究推進機構)/
COI 副拠点長・教授 村下 公一氏**



弘前大学は、政府 COI 拠点として、花王・ライオン・イオン・サントリー・ハウス・ファンケルなど約 60 企業/研究機関等の参画を得て、強力な産学官民連携チームで「寿命革命」を旗印に健康長寿社会の実現に取り組んでいる。

最大の強みは 16 年間蓄積した健康人の膨大な超多項目 (2000-3000) 健康ビッグデータの存在。本 BD をベースとした新健診モデル「QOL(啓発型)健診」で世界人類の健康づくり(SDGs) への貢献を目指す。

【略歴】

◆青森県庁、ソニー、東大フェロー等を経て 2014 年より現職。弘前大学 COI 拠点では副拠点長(戦略統括)として産学連携マネジメントを総括。文科省他政府系委員等多数。内閣府「第 1 回日本オープンイノベーション大賞」内閣総理大臣賞受賞(2019)。第 7 回プラチナ大賞・総務大臣賞受賞(2019)。第 9 回イノベーションネットアワード・文部科学大臣賞受賞(2020)。京都府立医科大学客員教授、東京医科歯科大学非常勤講師。専門：地域産業(イノベーション)政策、社会医学。

【特別講演】

演題：日本人とは？ 一糖尿病の病態から考える

講師：金沢大学大学院 内分泌・代謝内科学分野 教授 篁 俊成氏



1. 現代のブラックジャックの専門は？
日本は長寿国となったが、健康寿命との格差は大きい。
日本人の主要な死因あるいは QOL 低下の原因となる疾患の克服が課題である。
2. 欧米人と違う？ 日本人の糖尿病
日本人では軽度の肥満から代謝異常が増大する。その秘密は？
3. 健康長寿を目指すライフスタイルとは？
糖尿病のための特別な食事と運動はない。
糖尿病食は、「健康長寿食」であるべき。
カロリー制限はしない、いかに食べるか、いかに動くか、が重要だ。

【略歴】

◆1988 年 金沢大学医学部医学科卒業
◆1992 年 金沢大学大学院博士課程卒業
◆1993~1997 年 東北大学医学部医化学教室、日本学術振興会特別研究員、金沢大学第一内科助手、講師、准教授を経て、
◆2014 年~ 金沢大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学 教授
◆2018 年 文部科学大臣表彰 科学技術賞 (研究部門)

【特別講演】

演題：認知症多発超高齢社会：認知症を知る、防ぐ

**講師：金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(脳神経内科学)
教授 山田 正仁氏**



今世紀半ばに向けて、わが国は世界の先頭に立って認知症多発超高齢社会へ突き進んでおり、認知症に関わるあらゆる面(医学・医療・介護・福祉・支援テクノロジー・地域社会システムなど)についてチャレンジしていく立場にある。私たちは認知症の早期発見や予防法の確立を目的に、石川県七尾市巾島町において認知症やその前段階の軽度認知障害(MCI)の悉皆調査やそれに基づく研究を行っている。本講演では、

- (1) 認知症・MCI の実態
- (2) 認知症の原因、特にアルツハイマー病
- (3) 認知症の予防
について紹介する。

【略歴】

◆1980 年 東京医科歯科大学医学部卒業。
◆1988 年 カリフォルニア大学サンディエゴ校フェロー
◆1999 年 東京医科歯科大学大学院助教授(神経内科)
◆2000 年 金沢大学医学部神経内科教授
◆2008 年~ (大学組織改編により) 現職
専門領域：脳神経内科、特に認知症・アミロイド。
認知症研究で、日本神経病理学会賞(1997)、杉田玄白賞(2018)、日本神経学会賞(2020)、全米医学アカデミー・カタリストアワード(2020) ほかを受賞。

【共催】一般財団法人 北陸産業活性化センター、北陸経済連合会、
特定非営利活動法人 北陸ライフケアクラスター研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、
ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会、特定非営利活動法人 Team DiET
【後援】経済産業省 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、
石川県

お問合せ： 一般財団法人北陸産業活性化センター

TEL: 076-264-3001

FAX: 076-264-3900

Mail: sank@hiac.or.jp

北陸産業活性化フォーラム 参加申込書

参加無料

参加ご希望の方は、以下に必要事項をご記入の上、**令和2年11月13日(金)までに、**
FAX・メール・ウェブサイトからお申込みください。

FAX : 076-264-3900

E-mail : sanka@hiac.or.jp

WEB : <http://www.hiac.or.jp>

企業・団体名			
連絡先	TEL:		
	E-mail:	[ご担当者]

参加者名	所属・役職	お名前	参加方法 (いずれかに○をしてください)
			・会場 ・オンライン 【 E-Mail]
			・会場 ・オンライン 【 E-Mail]
			・会場 ・オンライン 【 E-Mail]

※オンラインでの参加をご希望の方は、必ず E-mail アドレスをご記入ください。

オンラインでお申込みをされた方には、ウェビナーのご案内と招待 URL をお送りいたします。

なお、2 日前までにご案内メールが届かない場合は、お手数ですがご連絡をお願いいたします。

以上